

館長だより

山形県産業科学館

平成27年11月18日第51号

発行 館長 大津 清

「触れる地球」講演会を開催しました

去る平成27年11月10日(火)午後1時30分～3時10分まで、金山町立金山中学校で講師に京都造形芸術大学教授の竹村真一先生をお迎えして、触れる地球デモンストレーション講演会を開催しました。演題は「地球目線で未来をデザインする」です。

これは、金山町教育委員会様と山形県産業科学館（山形県産業科学館IN最上）の共催により実現したものです。

金山町内の小学校5,6年生と中高生、地域の方々など300名に及ぶ参加者がありました。

雲画像や大陸移動、津波など地球全体が繋がって、地球もダイナミックに動いていることを実感しました。地域から地球を見て、地球から地域をみる視点の大切さを学びました。

講師の先生、金山町教育委員会様、参加された皆様ありがとうございました。

下記の新聞に紹介がありました。

- 『デジタル地球儀で講演 金山・震災時の津波投影も』 山形新聞11月12日付



第2回「ロボットとあそぼう！」行われました

去る平成27年10月25日（日）午後1時から2時30分まで山形県産業科学館2階フリースペースで第2回「ロボットとあそぼう！」が開催されました。サポートは館テクノボランティアの高校生の皆さんです。犬型ロボット「アイボ」、猫型ロボット「ニャーミー」、自立2輪走行ロボット「ミップ」、空飛ぶ人形「フェアリー」のロボットと楽しく触れあいました。入口では、魚ロボットがお迎えしました。

下記の新聞のように犬型ロボット「アイボ」は未来技術遺産に選定されました。

参加者の皆さん、テクノボランティアの皆さんありがとうございました。

- 『技術遺産にAIBO』 山形新聞9月2日付



11月21日「小・中学生のためのサイエンス広場」

平成27年11月21日（土）1回目11時～12時、2回目13時～14時、3回目14時15分～15時15分の3回にわたり、山形県産業科学館4階発明工房で山形大学大学院理工学研究科中島研究室の皆さんにより、「小・中学生のためのサイエンス広場～低温・超伝導・太陽電池のしくみ～」のイベントを行います。

内容は、液体窒素でなんでも冷やしてみよう・浮かぶりニアモーターカー・光で発電する太陽電池です。

申し込みは、山形大学大学院理工学研究科・中島研究室

電話：0238-26-3291 FAX:050-3737-6932

定員は各回とも先着25名です。まだ、空きがあります。ぜひ、申し込みください。

小・中学生のための
サイエンス広場
～低温・超伝導・太陽電池のしくみ～

【日時】平成27年11月21日(土)
11時00分～13時00分・13時15分～15時15分
（各回とも先着25名・1回1時間程度）

【場所】山形県産業科学館4階 発明工房
（山形市城南町1-1-1 費城セントラル内）

【内容】1 液体窒素、何でも冷やしてみよう
2 超伝導、浮かぶりニアモーターカー
3 光で発電、太陽電池

【申込・お問い合わせ先】
山形大学大学院理工学研究科 電気電子工学分野 中島研究室
電話：0238-26-3291
（電話受付時：月～木曜日 9:30～16:00）
FAX: 050-3737-6932
※FAXで申し込みの際は、学校名・学年・連絡先を必ず記入下さい！

主催：応用物理学会東北支部
共催：低温工学・超伝導学会
東北・北海道支部
後援：山形県教育委員会

・熱意なき人は描ける餅の如し。知識も才能も、熱意がなければ無に等しいのである。おたがいに一生懸命、精魂こめて毎日の仕事に打ち込みたい。
松下幸之助著「道をひらく」

松下幸之助（1894-1989）氏は和歌山県生まれのパナソニックの創業者です。九歳の時に大阪に奉公に出され、逆境にめげず企業を立ち上げました。世界的な企業に育て、経営の神様と呼ばれています。倫理教育や政治家育成にも力を注ぎました。